

環境・農水常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和2年6月23日（火）

2 調査の概要

(1) JAグリーン近江 大中の湖支店（近江八幡市大中町）

近江牛は「豊かな自然環境と水に恵まれた滋賀県内で最も長く飼育された黒毛和種」と定められている、本県を代表するブランドである。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、外食・観光業に関する需要の減少により枝肉価格が下落し、近江牛生産者の経営環境は厳しいものとなっていることから、県内近江牛飼養頭数の約4割を占めるJAグリーン近江管内の生産者の方々と県民参画委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大による近江牛への影響について意見交換を行った。



(2) 小杉豊農園（東近江市青野町）

本県においては、都市近郊の立地条件を生かし、消費者が来訪する誘客型園芸の振興に取り組んでいる。

小杉豊農園は、いちごを高設の少量土壌培地耕で5,400㎡栽培しており、来園者が年間1万人を超える県内最大級のいちご観光農園であるが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、来園者が落ち込み、誘客型園芸の経営環境は厳しいものとなっていることから、新型コロナウイルス感染症拡大による観光農園への影響について調査を行った。

